| 学校番号 | 309 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新版 大学入試共通テスト準備演習 古文・漢文編」（数研出版）<br>「新版 大学入試共通テスト実践演習 古文・漢文編」（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 精選　古典探究（大修館書店）<br>高校生の古典文法　七訂版（啓隆社）<br>新版　古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート（数研出版）<br>さくらさく古文単語（浜島書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年次に身につけた知識を用い、初見の文章を「時間内に読む能力」を向上させることが目標です。
・まずは、本文に書かれている内容が、どのような場面であるかを大きく掴む力をつけていきたいと思います。また、本文に書かれている内容だけでなく、設問で聞かれていることが何なのかを読み取る力もつけていきたいと思います。
・授業以外（家庭学習）においても、なるべくたくさんの問題を解くことが必要です。その際にも「時間を計る」など、指示された方法で学習しましょう。
・授業中のノートには、間違えた箇所を中心に解法のポイントをまとめ、後に見返した際、ポイントを思い出せるように記しましょう。

## 2　学習の到達目標

1. 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。礎的な知識について復習・確認すること。
2. 問題演習を行う際には、次の力を身につけることをめざす。
(1) 基礎的な知識について復習・確認し、実践的な学力を身につけること。
(2) １・２年生の間にインプットした知識を使いこなせるようになること（アウトプット）。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 出題の意図・設問の要求を注意深く正確に読み取ることができる。<br>不正解だった場合も、納得できるまで考え理解を深める。<br>古典文法などは、くりかえし学習し使いこなせる知識として定着させる。 | 文章の内容を的確に読み取り、解釈・考えを自ら深め、発展させている。自分の考えを言葉で表現することができる。<br>論理的な根拠をもって解答する習慣を身につける。 | 難解な問題であっても、間違うことを恐れず、自力で答えを出すまで考え抜くことができる。<br>共に学ぶ仲間と競い合い、教え合うことができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期・2学期・3学期 | 古文演習<br>［教材］<br>随筆<br>歌論<br>歌物語<br>軍記物語<br>物語<br>紀行文<br>評論<br>説話<br>伝記<br>歴史物語<br>日記 | a：出題の意図・設問の要求を注意深く正確に読み取ることができる。<br>不正解だった場合も、納得できるまで考え理解を深める。<br>古典文法などは、くりかえし学習し使いこなせる知識として定着させる。<br><br>b［ 読 ］：文章の内容を的確に読み取り、解釈・考えを自ら深め、発展させている。自分の考えを言葉で表現することができる。<br>論理的な根拠をもって解答する習慣を身につける。<br><br>c：難解な問題であっても、間違うことを恐れず、自力で答えを出すまで考え抜くことができる。<br>共に学ぶ仲間と競い合い、教え合うことができる。 | 行動の観察<br>発言<br>ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | 行動の観察<br>発言<br>ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | 行動の観察<br>発言<br>ノート<br>ワークシート<br>リフレクション<br>シート |
| | 漢文演習<br>［教材］<br>史伝<br>詩話<br>思想<br>注釈書<br>逸話<br>説話<br>随筆<br>漢詩<br>講義録<br>文章 | a：出題の意図・設問の要求を注意深く正確に読み取ることができる。<br>不正解だった場合も、納得できるまで考え理解を深める。<br>古典文法などは、くりかえし学習し使いこなせる知識として定着させる。<br><br>b［ 読 ］：文章の内容を的確に読み取り、解釈・考えを自ら深め、発展させている。自分の考えを言葉で表現することができる。<br>論理的な根拠をもって解答する習慣を身につける。<br><br>c：難解な問題であっても、間違うことを恐れず、自力で答えを出すまで考え抜くことができる。<br>共に学ぶ仲間と競い合い、教え合うことができる。 | 行動の観察<br>発言<br>ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | 行動の観察<br>発言<br>ワークシート<br>小テスト<br>定期テスト | 行動の観察<br>発言<br>ノート<br>ワークシート<br>リフレクション<br>シート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間